



FAS 住まい新聞

発行責任者
福地建装

北斗市中野通 324
TEL.0138-73-5558

～家づくりは人づくり～

◇ 家庭は社会の縮図です ◇

普通の家族とは、生まれた時から居住空間をともにし、同じ屋根の下で同じ空間の空気を吸って生きて来ました。この家庭の中で子供達は、言ったら引かない頑固父親との葛藤や確執もあり、また、親夫婦の大喧嘩の顛末をつぶさに見、兄弟、姉妹との喧嘩など闘いながら時を過ごす事になります。

本来、家庭とは、このように家族どうしの関わり通しながら、自分でも知らず知らずに自然と社会性を身につけて来たものと思われまます。

特に家族どうしが喧嘩した後に、その仲直りをするすべを知らなければ、家庭生活が崩壊してしまう事になり、そのためには必然的に喧嘩後の仲直りの仕方を身につけてまいります。

家庭生活は、このように住む人自身の人間性向上にもっとも大切な空間でもあると言えるでしょう。

非行やいじめに遭遇した子供を調査したところ、高い確率で快適な子供部屋で暮らしていたと言うデータがあります。広くて明るくて冷暖房の完備された快適な部屋で生活する子供は、食事を終えたら直ぐに自分の部屋に入って行きます。友達が来ると真っ直ぐに自分の部屋に入り、家族の触れ合いを持つ機会が少なくなります。事態が悪くなれば直ぐに自分の部屋に行くため、喧嘩をしても仲直りをする機会がありません。

社会性を身につける事なく子供は進学し社会へ出て行きます。子供はもっと家族の集う居間の存在を活用すべきでしょう。

◇ 昔は囲炉裏（いろり）の周りで人間性が育まれた ◇

56号の3月号に「日本の伝統文化を重んじよう」という内容の記事を執筆しましたが、突き詰めてゆくとやはり日本に根付いた家づくりの思想の中には、住む人の人間性を成長させる空間であった事に大きな感銘を受けます。

3月号で詳細を記述した囲炉裏ですがこの周りには、薪が燃える赤い炎の遠赤外線での暖かさが、父親や母親、そして姉妹、兄弟など、人の心の温もりがあります。あらゆる面でここが一番、快適な場所だったのでしょ。

この囲炉裏を中心にして、いつの間にか子供達は、社会性や人間性を育て成長して行ったと思われまます。この家族の在り方を、囲炉裏端が物語っているように思えてなりません。

◇ 家は人の心の魂を宿す空間に◇

現在の住宅事情の中で、家の中にこの囲炉裏を設けるのは無理な事でしょう。そもそも家の中で薪を燃やして煙を出す事が出来なくなりました。煙の処理は出来ても、薪を揃える事、その薪を保存する場所などに課題があります。

エアコンのスイッチひとつで冷房や暖房の出来る現在の生活を、もはや変える事など出来ない環境となってしまいました。

しかしながら、家屋の果たす役割を考えたら、昔の家の囲炉裏端での家族との触れ合いを考慮したいものです。家は単に雨風を防ぎ、外敵から身や財産を守るだけでなく、子供達の社会性を育む大切な役目も担っていたようです。

囲炉裏端の役割である家族が集う居間と言う空間を活用すべきでしょう。美人薄命と言いますが、家の美観に凝り過ぎるとそのメンテナンスがとても困難になり、温熱環境上の管理が難儀を極める事にもなり兼ねません。

家づくりにおいて、住む人の幸せを第一に考慮するとしたなら、古来家屋の囲炉裏端の思想だけでも取り入れて行きたいものです。

ファースの家には、その思想が息衝いています。 「著 福地脩悦」

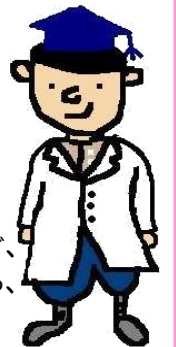
夏の知恵袋

カーテンの簡単洗い

カーテンの洗濯って面倒だよ。フックの金具を外したり付けたり、手間がかかるんだよ。

それにはね、洗濯ネットを使うといいんだよ。まずは、カーテンの金具を付けたまま屏風たたみにするんだ。たたら、金具が付いた部分だけを洗濯ネットに入れて、口をぎゅっと縛って洗濯機で洗うんだよ。こうすると金具が取れる心配がないんだ。

レースのような薄手の生地カーテンは、脱水したらすぐ、そのままカーテンレールに掛けて乾かすといいよ。これなら、こまめに洗濯する気にもなるよね。



ファース本部のオフィシャルサイトは、

空気サラサラ

検索